

# 校務の効率化をめざして

-DXを推進するために-

Vol.3 令和6年 12月 19日発行

「校務DX(デジタル・トランスフォーメーション)」をテーマに、「できることから」という視点でコンテンツを提供します。

山口県教育庁教育情報化推進室

## 大切なDXの考え方

教育DX通信やまぐちVol.2では、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の段階を次のように示しました。


**【第1段階】アナログ・物理データのデジタルデータ化(デジタイゼーション)**  
**【第2段階】個別の業務プロセスのデジタル化(デジタイゼーション)**  
**【第3段階】全体プロセスのデジタル化、価値創出、変革(デジタル・トランスフォーメーション)**

業務の効率化をめざす上でDXの推進は重要な要素です。そのためには、学校のこれまでの慣習や考え方など「**こうあるべきだ**」という従来の概念をアップデートし、新たな価値観を受け入れることが必要です。

環境の変化にすぐに対応することは難しいですが、まずはできることからデジタル化を進め、「便利になったな」という成功体験を積み重ねることが大切です。その上で、「デジタルで代替する」という考え方から一歩進んで、一人ひとりの教員がデジタルを活用することによって**新たな価値を生み出そうとする視点をもつこと**がDXの推進につながると考えられます。

今回も文部科学省のチェックリストの項目をもとに、教育現場で実践しやすい具体的なツールやノウハウを提供し、成功体験の創出を支援します。

### 事例紹介③ 職員会議等資料のクラウド共有によるペーパーレス化

【★文部科学省チェックリスト項目15★】

R5達成状況

・職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化していますか。

67.3%



紙での配布



クラウドで共有

- 印刷・配布等の手間が軽減
- 検索や過去の資料の確認が容易

- 各自でのファイリングが不要
- 内容がリアルタイムで反映

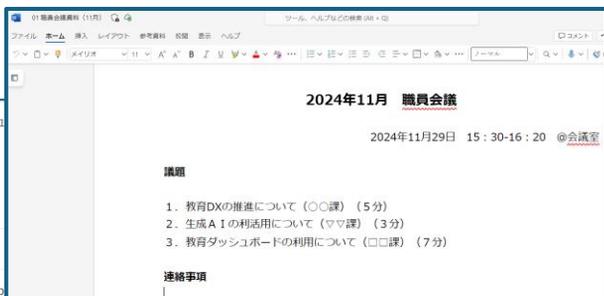


教員の負担軽減へ

#### ペーパーレス化の具体例



○Teamsの職員会議チャンネルに職員会議資料を保存



○クラウド上で確認・リアルタイムに編集

学校での職員会議のペーパーレス化の様子(動画)については、やまぐちICT新たな学びラボ『06 ICT活用の「日常化」に向けて～教育DXの推進～』に掲載しています。

※コンテンツを視聴するにはパスワードが必要です。パスワードは9月24日付事務連絡『「やまぐちICT新たな学びラボ(YAMA-LABO)」のURL変更について』にて通知しております。

事務職員の声から生まれた

さらなるDXのアイデア

Power Automateで実施する

事務職員向け  
校務DX

添付ファイルの自動保存

学校に届く通知文等の**大量の添付ファイル**を、TeamsやShare point上のクラウドに**Power Automateで自動保存**する事例を、やまぐちICT新たな学びラボに掲載しています。是非ご覧ください！

